



有限会社リード・クリエーション発行.2012年

2012年  
5月号

No.131



**~言うことをきかん奴等を、素直に従わせる術~**  
パートのおばさんの一撃

前もって断っておきますが、これはうちの職場の話ではありません！  
「何回も、何回も言ってもおんなじことを繰り返す奴だ！」  
「諭しても、叱っても、怒鳴ってもアラタマラン奴等だ！」  
「近頃の若い奴はどうしようもない！」と、いつも嘆いている社長いませんか？  
これを読むと目から鱗が何枚も落ちることでしょう。  
なんせ、あの世界に名だたる大会社の創業社長が語ってるんですから・・・

〇〇〇の社長時代、最新鋭の設備を備えた工場ができ、世界中から大勢の見学者が来られました。しかし一番の問題だったのが便所の落書きです。会社の恥だからと工場長にやめさせるよう指示を出し、工場長も徹底して通知を出した。それでも一向になくならない。そのうちに『落書きをするな』という落書きまで出て、私もしょがないかなと諦めていた。するとしばらくして工場長から電話があり『落書きがなくなりました』と言うんです。『どうしたんだ？』と尋ねると、『実はパートで来てもらっている便所掃除のおばさんが、蒲鉾の板2、3枚に、

“落書きをしないでください ここは私の神聖な職場です”

と書いて便所に張ったんです。それでピタッとなくなりました』社長は続けて「この落書きの件について、私も工場長もリーダーシップをとれなかった。パートのおばさんに負けました。その時に、リーダーシップとは上から下への指導力、統率力だと考えていましたが、誤りだと分かったんです。以来私はリーダーシップを“影響力”と言うようにしました」と言われたんです。リーダーシップとは上から下への指導力、統率力が基本にある、それは否定しません。

とても胸を打たれたこのお話は、致知出版社のメールマガジン「人間力.com」で読んだ「ソニー創業者・井深大氏が語ったリーダー論」の一部です。



(F)



~東南アジアの理・美容事情~

日本では10分で1000円カットのQBハウスや、短時間・低料金のお店が増えていますが、この手のお店は国内だけに留まらずシンガポール・香港台湾・中国と、成長が続くアジア市場への進出も広がっています。もう10年以上前のことですが、ベトナムのホーチミンで路上で散髪をする男性の姿をたくさん見かけました。その当時の料金は確か1万~1万5000ドン(400~600円)でした。インフレが続く今でも1回2万5000~3万ドン(100~120円位)と、ビックリするくらいの低価格です。聞いたところ、ひげ剃りや耳あか取りのサービスもあるとか。日本ではエステや、マッサージのお店が凄い勢いで増えていますが、マッサージの本場台湾ではこんなユニークなお店を見かけました。オバちゃんが笑顔で、お客さんの首根っこを叩いていたのはナント包丁です。所変われば、マッサージのやり方も随分変わるんですね。(F)



リード・クリエーション・プロデュース



大人の女性の為の  
まつげエクステ&ネイルサロン「ジュエルーチェ」

JEWELLUCE  
NAIL SALON



中央区白金(薬院駅より徒歩2分)に、大人の女性のためのネイルサロン『JEWELLUCE ジュエルーチェ』がオープンいたしました。内装は白を基調とし、オーダー家具や照明、随所にゴールド色を散りばめてあり、ラグジュアリーな空間で寛ぎながら美しくなって頂く。そんな仕掛けが施されています。それぞれお客様のライフスタイル・ご希望に沿った提案をしてくれますので、安心してお任せできますよ。これからの季節、ジュエルーチェで指先や目元のお洒落をされてみてはいかがでしょうか？(T)

住所 / 福岡市中央区白金1-18-37 1F  
TEL / 092-522-8646  
営業時間 / 11:00~21:00  
定休日 / 不定休

<http://jewelluce.com>



編集後記

私たちの仕事は、お店を作ることです。なので、いろんなプロフェッショナルな方々と一緒に仕事をします。餅は餅屋ということで、大工さん、左官さん、塗装屋さん、家具、電気、照明、クロス、床貼り、看板・・・他にも様々な職人さんたちが、一つの夢を形にする為に私たちと共に誠心誠意、働いてくれるのです。私が若ッパリし頃、現場で一日中、掃除班として(それしか役立たず・・・)活躍していた時のお話です。現場に置き去りにされ(泣)埃の中でホーキを持って掃いてると、あっちの方から「かんなくずを濡らして撒くと、埃はたんよ」また、こっちの方から「元気に挨拶せな、聞こえんバイ!」「道具は大事やから、触る時は用心せな」・・・。恥ずかしながら、何も知らなかった私に、いつも職人さん達の愛ある叱咤激励が飛んできました。今思えば、全て現場を大事にしてくれてた証です。あの頃の私にとって、店作りの基礎を学んだ教室でもあったなあと、今でも若葉の季節に思い出します。BY. みちか